W42SA USBドライバ インストールマニュアル

発行元：三洋電機株式会社　2007年6月　第2版

目次

■用語の説明

USBドライバ	パソコンのUSBポートに接続される周辺機器をパソコンが認識し、制御を行うために必要なソフトウェアです。 「W42SA USBドライバ」がパソコンにインストールされていないと、パソコンがW42SAを正常に認識できません。
インストール	W42SAをパソコンのUSBポートに接続して使用できるように、「W42SA USBドライバ」をパソコンに入れ込む作業のことです。
アンインストール	パソコンに入れ込まれた「W42SA USBドライバ」をパソコンから削除する作業のことです。

はじめに

本書は、W42SAとパソコンをUSBケーブル(試供品)で接続して、お使いいただくために必要な「W42SA USBドライバ」(以下「USBドライバ」と表記します)をパソコンにインストールする方法について記載しています。
※USBケーブル(試供品)以外に、別売の「USBケーブルWIN(0201HVA)」もお使いいただけます。

■USBドライバの動作環境について

対応OS	Windows 2000 Professional Windows XP Professional Windows XP Home Edition Windows Vista(32ビット版) ・上記OSでもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。 ・Windows XP の x64 Editionは対応しておりません。 ・Windows Vista(32ビット版)動作確認結果についてすべての環境での動作を保証するものではありませんので、ご了承ください。
パソコン	USB1.1以上に準拠しているUSBポート搭載のパソコンで、上記のOSが工場出荷時にインストールされているDOS/V互換機 ・上記OSに対応しているパソコンのすべてを動作保証するものではありません。

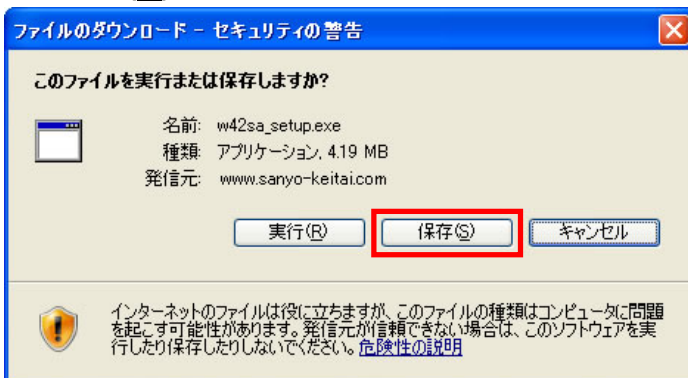
■ご利用上の注意

・COMポート番号は、接続するパソコンの環境によって異なります。
・W42SAとパソコンでの通信中にUSBケーブルを外さないでください。通信中のデータが失われることがあります。
・他のUSB機器と同時にご利用の場合、通信速度が低下することがあります。

USBドライバをダウンロードする

USBドライバダウンロードページから「W42SA　USBドライバ」をダウンロードしてください。ご使用のパソコンによって画面表示が異なる場合があります。

1　USBドライバダウンロードページから「USBドライバ」をクリックする

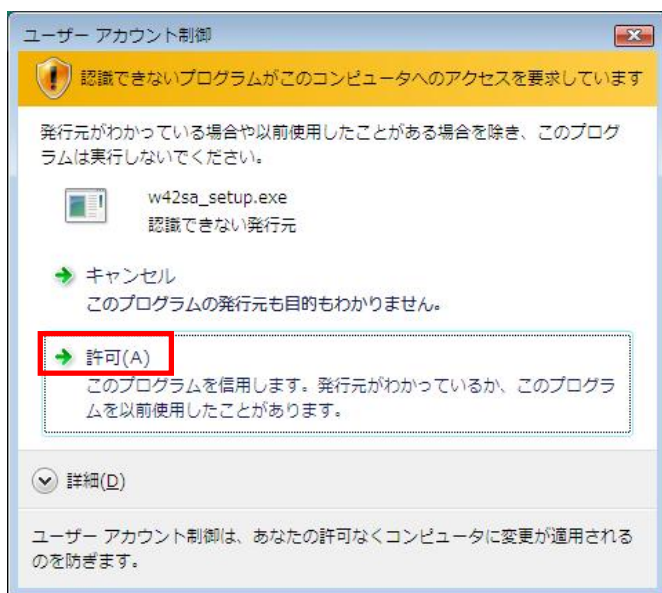
2「保存(S)」をクリックする

「w42sa_setup.exe」をデスクトップなどに保存してください。

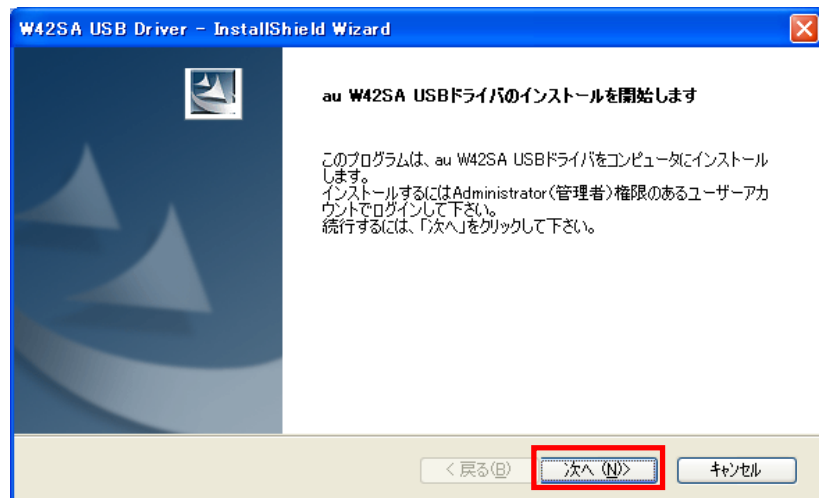
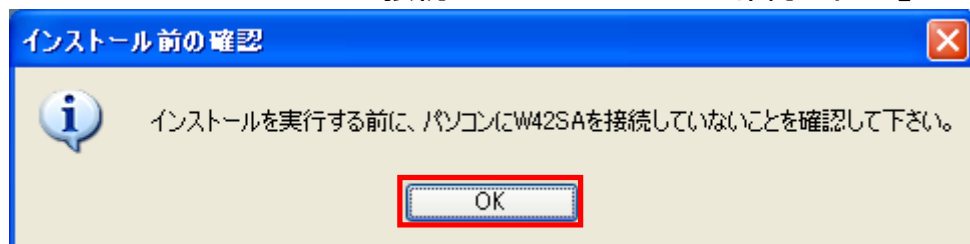
USBドライバをインストールする

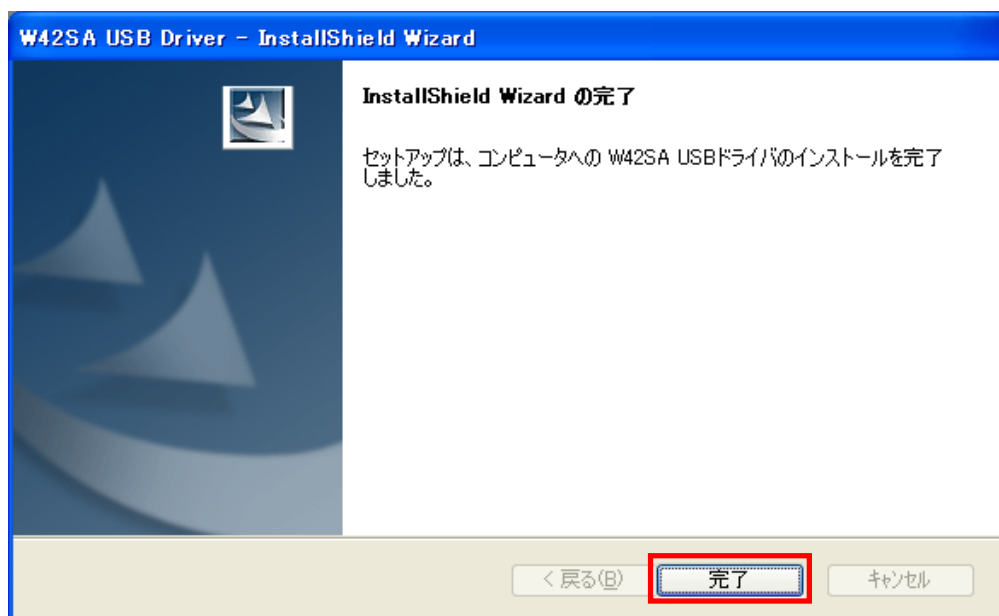
インストールを開始する前に以下の内容についてご確認ください。
・Administrator(管理者)権限のあるユーザーアカウントでログインしてください。
・Windowsで起動中のアプリケーションを終了してください。
・インストール完了までW42SAをパソコンに接続しないでください。

1　ダウンロードした「w42sa_setup.exe」をダブルクリックする

※セキュリティの警告画面が表示される場合があります。
その場合は「実行(R)」をクリックしてください。

※Windows Vistaの場合、以下の画面が表示される場合があります。
その場合は「許可(A)」をクリックしてください。

インストール処理中の画面が表示されます。しばらくお待ちください。

2　インストール画面が表示されたら内容を確認し「次へ(N)>」をクリックする

3　パソコンにW42SAが接続されていないことを確認し「OK」をクリックする

インストール処理中の画面が表示されます。しばらくお待ちください。

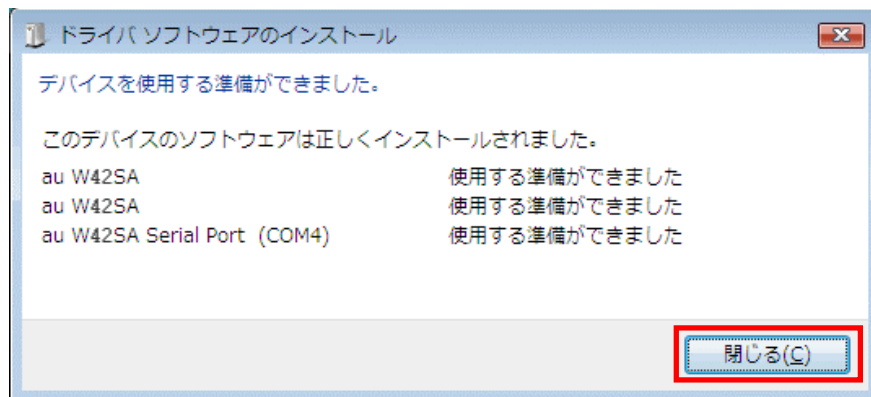
4　「完了」をクリックする

USBドライバのインストールを確認する

パソコンが「USBドライバ」を正常に認識しているか、以下の手順で確認できます。

1　パソコンにUSBケーブルを接続する

2　W42SAの電源を入れ、待受画面が表示されたら、USBケーブルをW42SAの外部接続端子に接続する

3　W42SAに「USB設定」画面が表示されたら、「データ通信/転送モード」を選択する

※Windows Vistaの場合、以下の画面が表示されます。
　その場合は「閉じる(C)」をクリックして下さい。

※ポートのCOM番号はパソコンの環境によって異なります。

4　パソコンの「システムのプロパティ」画面を表示する

Windows 2000の場合

Windowsの「スタート」から「設定」→「コントロールパネル」をクリックして開き、「システム」をダブルクリックする

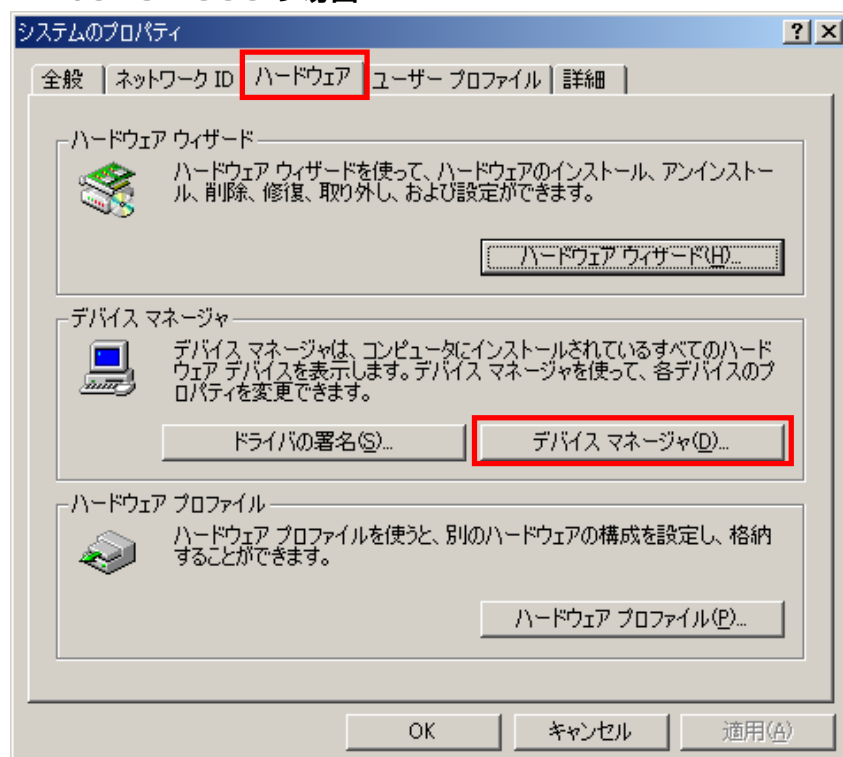
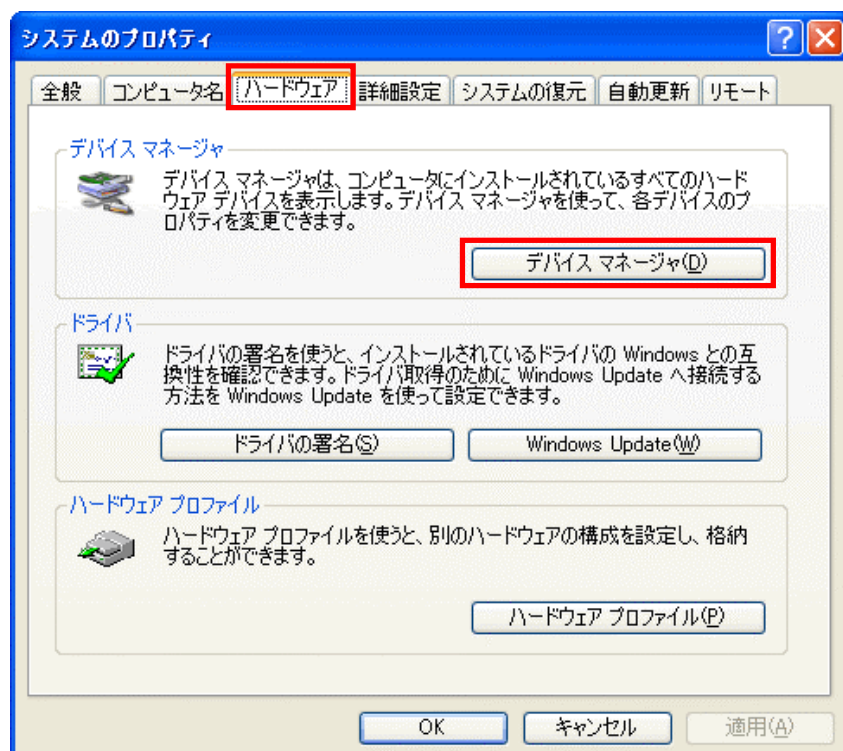
Windows XPの場合

Windowsの「スタート」から「コントロールパネル」をクリックして開き、「システム」をダブルクリックする

Windows Vistaの場合

Windowsの「スタート」から「コントロールパネル」をクリックして開き、「システムとメンテナンス」をクリックする

5　「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

Windows 2000の場合

Windows XPの場合

Windows Vistaの場合

「デバイスマネージャ」の「ハードウェアとデバイスを表示」をクリックする

コントロール パネル ▸ システムとメンテナンス ▸

検索

コントロール パネル ホーム

- システムとメンテナンス

セキュリティ

ネットワークとインターネット

ハードウェアとサウンド

プログラム

ユーザー アカウントと家族のための安全設定

デスクトップのカスタマイズ

時計、言語、および地域

コンピュータの簡単操作

その他のオプション

クラシック表示

最近のタスク

ハードウェアとデバイスを表示

ウェルカム センター

Windows の開始 | 使用中の Windows のバージョンの検索

バックアップと復元センター

バックアップの作成 | バックアップからのファイルの復元

システム

RAM の量とプロセッサの速度の表示 | お使いのコンピュータの Windows エクスペリエンス インデックス基本スコアを確認 | リモート アクセスの許可 | コンピュータの名前の参照

Windows Update

自動更新の有効化または無効化 | 更新プログラムの確認 | インストールされている更新プログラムの表示

電源オプション

スリープ解除時のパスワードの要求 | 電源ボタンの動作の変更 | コンピュータをスリープ状態にする時間の変更

インデックスのオプション

Windows の検索方法の変更

問題のレポートと解決策

新しい解決法の確認 | 解決策の確認方法の選択 | 問題の履歴の表示

パフォーマンスの情報とツール

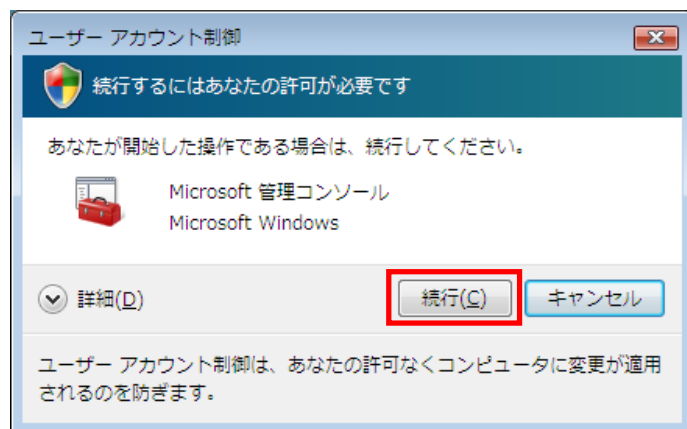
お使いのコンピュータの Windows エクスペリエンス インデックス基本スコアを確認 | パフォーマンスを改善するツールの使用

デバイス マネージャ

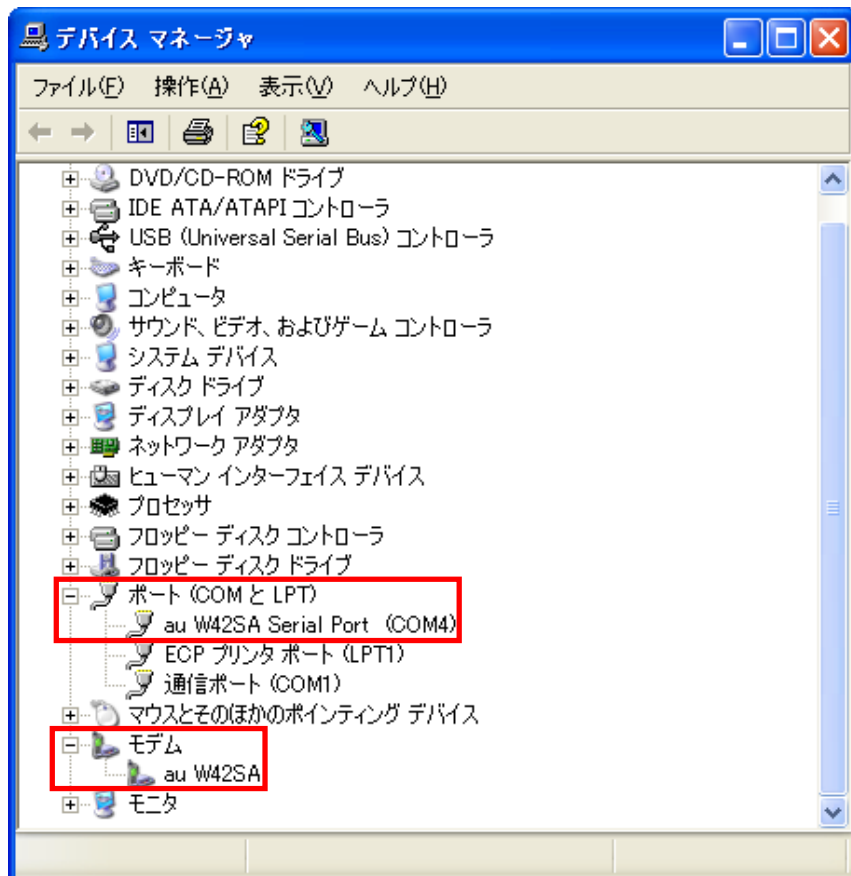
ハードウェアとデバイスを表示 | デバイス ドライバの更新

管理ツール

ディスクの空き領域を増やす | ハード ドライブの最適化 | ハード ディスク パーティションの作成とフォーマット | イベント ログの表示 | タスクのスケジュール

※以下のような画面が表示されます。「続行(C)」をクリックして下さい。

6　「ポート(COMとLPT)」をダブルクリックして「au W42SA Serial Port (COM＊)」が表示されていることを確認する(＊はパソコンの環境によって異なります)

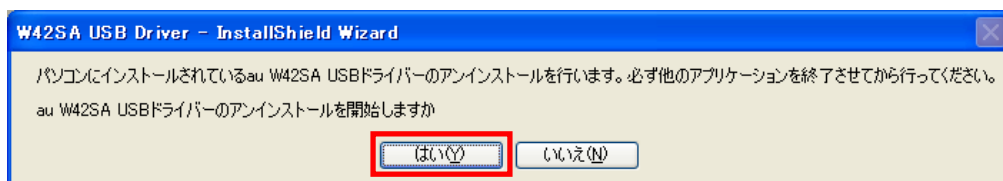
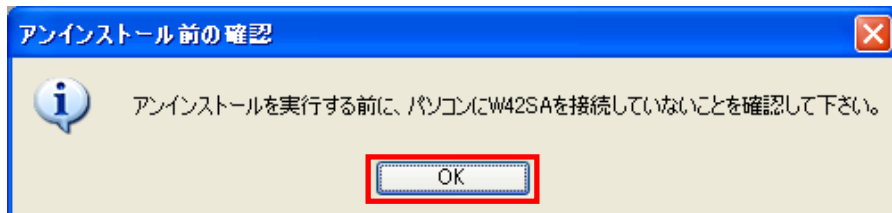
「モデム」をダブルクリックして「au W42SA」が表示されていることを確認する

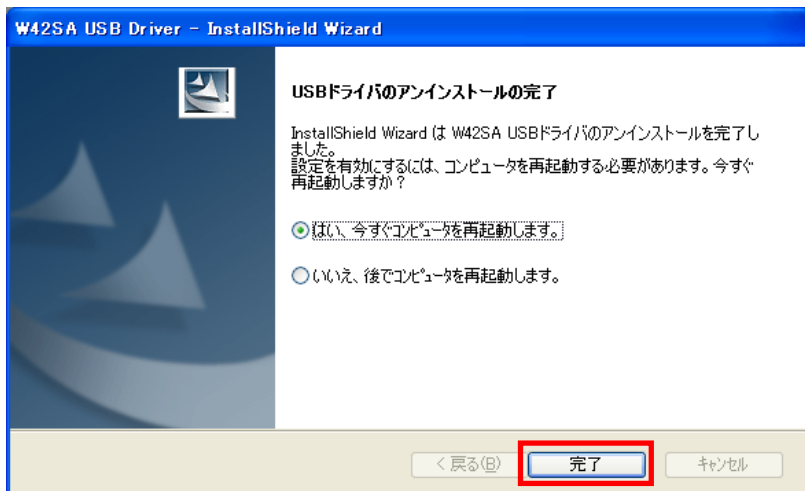
下記の様に表示されていれば正常に認識されています

・デバイスマネージャに表示されていない場合や「?」マーク「!」マークが表示されている場合には、USBドライバをアンインストール後、再インストールしてください。
・ポートやモデムのCOM番号はパソコンの環境によって異なります。モデムのCOM番号はデバイスマネージャの「モデム」の「au W42SA」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「モデム」タブをクリックすると表示することができます。
・デバイスマネージャの「表示」設定が「デバイス(種類別)」以外に設定されている場合は、上記と表示が異なります。

USBドライバをアンインストールする

アンインストールを開始する前に以下の内容についてご確認ください。
・Administrator(管理者)権限のあるユーザーアカウントでログインしてください。
・Windowsで起動中のアプリケーションを終了してください。
・アンインストール作業中はW42SAをパソコンに接続しないでください。

1　USBドライバのインストール手順と同様の操作を行う
USBドライバがパソコンにインストールされている状態でインストール手順と同様の操作を行うと、USBドライバはアンインストールされます。
準備中画面が表示されますので、しばらくお待ちください。

2　内容を確認し「はい(Y)」をクリックする

3　パソコンにW42SAが接続されていないことを確認し「OK」をクリックする

アンインストール処理中の画面が表示されます。しばらくお待ちください。

4　「完了」をクリックしパソコンを再起動する

コマンドリファレンス

■ATコマンド

ATコマンドは“AT”に続いて“コマンド”と“パラメータ”を入力し、エンターキーを押す(コマンドに＜CR＞の記述があるもの)とコマンドが実行されます。なお、コマンドの入力は、大文字・小文字ともに可能です。

コマンド	機能	説明
A/	再実行	直前のATコマンドをもう一度実行します。
ATDdial＜CR＞	ダイヤル	ダイヤルに発信します。 dial=ダイヤル番号
ATIn＜CR＞	アイデンティフィケーション	パラメーターに従って要求内容をパソコンに通知します。 n=0：”OK”を返す n=1：製品名(W42SA) n=2：対象電話機(CDMA 1X WIN) n=3：製造メーカー名(SANYO Electric Co.,Ltd.) n=4：”OK”を返す n=5：”OK”を返す n=6：電話番号 n=7：”OK”を返す
ATQn＜CR＞	リザルトコード設定	リザルトコードをパソコンへ返すかどうかを設定します。 n=0：リザルトコードを返す(デフォルト) n=1：リザルトコードを返さない
ATSr?＜CR＞	Sレジスタの内容表示	rで指定したSレジスタの内容をパソコンへ返します。
ATEn＜CR＞	エコー設定	パソコンに対してコマンドキャラクタをエコーバックするかどうかを設定します。 n=0：コマンドエコーバックしない n=1：コマンドエコーバックする(デフォルト)
ATZ＜CR＞	バックアップ値に設定	各種ATコマンドの設定をバックアップした値に設定します。
AT&Cn＜CR＞	DCD制御 ※デフォルト値でお使いください。	DCD(受信キャリア検出)信号の動作を制御します。 DCD信号とは、相手からのキャリアを受信しているかどうかをパソコンへ知らせる信号です。 n=0：常にDCDをON n=1：パケット通信がアクティブのときのみON(デフォルト)

コマンド	機能	説明
AT＆Dn＜CR＞	DTR制御 ※デフォルト値でお使いください。	DTR(データ端末レディ)信号の動作を制御します。 n=0：常にDTRを無視し、ONとする n=1：オンライン状態でDTR信号がONからOFFになるとオンラインコマンド状態へ移行する n=2：オンライン状態でDTR信号がONからOFFになると回線を切断し、オフラインコマンド状態に移行する(デフォルト)
AT＆F＜CR＞	default(工場出荷設定値)に設定	各種ATコマンドの設定をデフォルト値(工場出荷設定値)に戻します。
ATVn＜CR＞	リザルトコード表示設定	パソコンへのリザルトコードを数字で返すか文字で返すかを設定します。 n=0：数字 n=1：文字(デフォルト)

■Sレジスタ

レジスタ	機能	単位	初期値
S3	CRキャラクタコードの設定	−	13
S4	LFキャラクタコードの設定	−	10
S5	BSキャラクタコードの設定	−	8

■リザルトコード一覧

本製品がモデムとして動作する場合、パソコンなどからのATコマンドに応答し、リザルトコードの形でパソコンに信号を送り、回線での動作状態を通知します。
使用できるリザルトコードには2つの形式があります。文字形式で長く詳しい応答と、数字形式で短い応答です。文字形式のコードは＜CR＞＜LF＞で始まり、＜CR＞＜LF＞で終了します。数字形式には先行するシーケンスではなく＜CR＞で終了します。

数字	文字	説明
0	OK	コマンドライン実行確認のため、[OK]コードを送ります。
1	CONNECT	オンラインモード状態に遷移した場合、このリザルトコードを送ります。
3	NO CARRIER	オフラインモード状態に遷移した場合、このリザルトコードを送ります。
4	ERROR	コマンドライン構文エラー、実行不可能およびコマンドが存在しない場合、またパラメータ許可範囲内外の場合に、このリザルトコードを送ります。
29	DELAYED	通信が規制中の場合、このリザルトコードを送ります。